

学校の教育目標	児童が将来、一社会人として立派に自立し、国や郷土、自分の周囲に貢献できる資質を身に付けさせることを目指して、教育を推進する。
特別活動の目標	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。 (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。
目指す児童像	○よく考える子【よりよい人間関係や生活をつくろうとしたり、自己の生き方について考えを深めようとする子。】 ○思いやりのある子【自分と他者の考え方の違いや互いのよさを認め合い、協力し合える子】 ○ねばり強い子【学級や学校での生活をよりよくするために話し合い、必要なことやしなわなければならないことなどを理解し、実践する子】
特別活動の重点目標	学校生活における自己や集団の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

		学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
目標	目標	学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることにより、自主的、実践的に取り組むことを通して、資質・能力を育成する。	異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立てて役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、資質・能力を育成する。	異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立て、運営することにより自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長や資質・能力を育成する。	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、資質・能力を育成する。
	指導の方針	○社会性や個性の伸長を図るために、活動の工夫をするともに適切な指導を行う。 ○集団の一員としての自覚を深め、自主的・実践的な態度を育成するために、学級や学校生活の充実と向上に関することについて考えたり取り組んだりする話し合いや協力的な活動を多く取り入れる。 ○一人一人の思いや願いを大切にするために、提案理由に沿ったよりよいものを選んだり、意見を合わせて新しいものを作ったりなど、多様な合意形成の仕方にふれられるようにする。	○異年齢集団活動を通して、上学年が下学年を思いやり、下学年が上学年にあこがれをもち、仲良く、協力し、信頼し支え合おうとする人間関係を形成する。 ○集団の一員としての自覚を高めさせ、学校生活を豊かにしようとする態度を育てるために、学校生活の充実と向上のための計画やルールづくりにも主体的に参加させ、自ら計画し実践する活動を経験させる。	○学年や学級が異なる同好の児童が互いに協力し、信頼し支え合おうとする人間関係を築くことができるようにする。 ○自主性と社会性を養い、個性の伸長を図るために、児童の発想や創意工夫を生かしたクラブを組織し、自発的・自治的な活動や興味、関心のある活動に取り組ませる。	○集団への所属感を深めるために、学校生活の充実と発展に資する体験的活動を取り入れる。 ○行事に積極的に参加する態度を養う。 ○集団の一員としての自覚をもたせ、感動的な体験を味わわせる。
	主な指導内容	(1) 学級や学校における生活づくりへの参画 ア学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ学級内の組織づくりや役割の自覚 ウ学校における多様な集団の生活の向上 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア基本的な生活習慣の形成 イよりよい人間関係の形成 ウ心身ともに健康で安全な生活態度の形成 エ食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 ア現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 イ社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 ウ主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	学校の全児童をもって組織する児童会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行う。 (1) 児童会の計画や運営 (代表委員会、各種委員会) (2) 異年齢集団による交流 (児童集会・各種委員会) (3) 学校行事への協力 (代表委員会、各種委員会)	学年や学級の所属を離れ、主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、異年齢集団活動の交流を深め、共通の興味・関心を追求する活動を行う。 (1) クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営 (2) クラブを楽しむ活動 (3) クラブの成果の発表	○儀式的行事・学校や地域的事象について学習したことを基に、学校や地域の一員としての自覚を高めるようにする。 ○文化的行事・国語や音楽、図画工作などの学習の成果を発表し交流しあうことで、それらの学習の向上及び意欲を一層高める。 ○健康安全・体育的行事・体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度を育成する。 ○遠足・集団宿泊的行事・社会や理科、生活などの学習を生かして、自然や文化などに親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積む。 ○勤労生産・奉仕的行事・生活、社会などの学習を生かして、勤労の尊さや生産の喜びを体得させ、社会奉仕の精神を養う体験を行う。
	各教科・読書科	○各教科等の指導で身に付けた言葉を的確に理解・表現する能力、互いの立場や考えを尊重し伝え合う能力などを活用したり、これらの能力を向上させたりする。 ○「学校図書館の利用」や「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」や「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」などは、国語科や体育科、家庭科の学習とも関連を図って指導する。	○各教科で身に付けた能力などを、児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにする。児童会活動で身に付けた自主的、実践的な態度などを各教科等の自発的な学習に生かせるようにする。	○各教科の学習を中心として行われる教育活動の中で、児童の自主的な活動が促され、自己の特性を生かしながら学級や学校的生活を送ることができるようにする。クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が他の教育活動においても生かされるようにする。	○儀式的行事・学校や地域的事象について学習したことを基に、学校や地域の一員としての自覚を高めるようにする。 ○文化的行事・国語や音楽、図画工作、家庭科などの学習の成果を発表し交流しあうことで、それらの学習の向上及び意欲を一層高める。 ○健康安全・体育的行事・体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度を育成する。 ○遠足・集団宿泊的行事・社会や理科、生活などの学習を生かして、自然や文化などに親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積む。 ○勤労生産・奉仕的行事・生活、社会などの学習を生かして、勤労の尊さや生産の喜びを体得させ、社会奉仕の精神を養う体験を行う。
	他の教育活動との関連	集団の一員としての意識を高め、学級の諸問題に主体的に取り組む態度を育成する。常に自他の存在を尊重し合い、よりよい学級づくりに力を発揮できるようにする。 外国語活動で身に付けたコミュニケーションへの積極的な態度を生かせるようにする。	自発的・自治的活動を活発にし、教師の援助を受けながらよりよい学校づくりに励もうとする自主的な態度を育成する。 外国語活動で学んだコミュニケーション活動の成果を生かせるようにする。	児童一人一人が互いに尊重し、協力し合いながら個性を生かし、充実した集団活動を創り上げていく。 「相手との関係を円滑にする」「事実を伝える」「考えや意図を伝える」「相手の行動を促す」などの学習体験を生かせるようにする。	集団の一員としての自覚を高め、社会に奉仕する態度と公德心・責任感を育て実践力を高める。 外国語活動で身に付けた国や我が国の文化に対する理解を深め、世界の人々と交流しようとする態度を諸行事に生かせるようにする。
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間で身に付けた課題発見力、主体的な学習態度などを、学級の諸問題を解決する実践活動に生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスを、学校の諸問題の解決や、児童集会の企画・運営などに生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決における創意工夫を、クラブ活動における展開に生かせるようにする。	総合的な学習の時間の問題の解決や探究活動として行われる体験活動と遠足・集団宿泊的行事との関連、また社会とのかかわり方を考える体験活動と社会奉仕の精神を養う体験を行う勤労生産・奉仕的行事との関連を生かせるようにする。
	家庭や地域との連携	楽しく豊かな学級や学校での生活づくりをするために、個々の家庭の状況に配慮し、家庭の指導との連携を図る。また、基本的な生活習慣の形成、心身ともに健康で安全な生活態度の形成においても、家庭と連携を図り効果的な指導をする。	児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりの活動を効果的に展開するために、家庭や地域の協力を得たり、社会教育施設等を活用したりする。	児童の興味・関心を基本としながら、低学年からのICTを活用した授業の経験と関連付けて、外部講師等の教育力を活用したりするなど、児童の実態や特性を考慮した活動を促す。	文化的行事や健康安全・体育的行事などにおいて、近隣の学校や地域社会の人々が参観しやすいように、期日などを考慮して実施するなどして、積極的に地域の人々に理解を得る。
備考					